

(2024) 年度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(常磐野) 児 童 館

		活動名	実施回数	参 加 人 数										内 容	成 果 と 課 題		
				乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア					合計	
					自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生	大人				
子ども育 成 機 能	基 本 活 動	(2) 遊びの教室活動															
		工作	6	2	38	338	5	17		3				403	ブラバンキーホルダー、バスボムづくり、紙血飛行機など様々な工作を体験する。手先を使い細かい作業をしたり、手間のかかることを楽しみながらすることで集中力を養う。	ブラバンキーホルダーやバスボムづくり、オリジナルカードづくりは特に人気が高く参加も多かった。自由来館児が少ないため、じどうかんニュースに写真を掲載するなど工夫して集客に努めたい。	
		トランポリンの日	24	2	16	658	0	26		1				703	月2回実施。大型のトランポリンで遊ぶ。安全面に配慮しながら順に一人ずつ遊ぶ。	長期休業中には、乳幼児の利用があった。月2回と回数が増えているが、普段できない遊びの楽しさを思い出しているため、継続していきたい。	
		みんなあつまれ♪あそびの日	24	14	2	1	2	0	0	11	0	0	0	30	毎月土曜日に2回不定期で実施。カブラブロックやブラレールで自由にあそぶ。	ブラレールもカブラも参加人数が少ないため、広報に力を入れて参加人数を増やしていく必要がある。ブラレールとカブラだけでなく、他のあそびのを検討しても良いのかもしれない。	
		オセロ・将棋道場	12	17	229	3	5	1					31	286	オセロ・将棋のやりたい方を自分で選択し、いろんな人と対戦する。オセロと将棋を気軽にふれあい楽しめる場として取り組む。	昨年から地域の方が将棋を教えに来てくださっている。得意な子だけでなく、初めての子にも丁寧に教えてくださることで、オセロ将棋道場が活気づいていた。参加者が多くなっているため、実施できる月によっては、オセロと将棋の日を分けてもよいのではないかな。	
		アフター5は卓球タイム	24						72						72	中高生を対象に午後5時以降の時間、遊戯室にて卓球を楽しむ。	卓球部の中学生が利用してくれた。夏休みの利用はなかったが、特に試合前にはよく利用があった。長期休みでも利用ができることを呼びかけた。
		(4) クラブ活動															
		小学生クラブ説明会	1	12	10	22	4		6						54	小学生クラブ（工作・実験クラブ、はんどめいどクラブ、あそびクラブ、ドッジボールクラブ）に参加を希望する児童を対象に、各クラブの目的、内容、運営などについての説明を行う。	クラブの内容をきちんと説明することができたが、ドッジボールクラブの人数が少なかった。前週に時間がかり、他のクラブ参加予定の児童が待つ時間が長くなった。今後はドッジボールクラブのみ説明会を開催してもいいかもしれない。人数が少ないクラブについては、じどうかんニュースで再度案内したり、こども同士誘い合って参加してもらえよう声をかけた。
		工作・実験クラブ			85		52								137	3年生以上を対象に週1回実施。身近な素材を利用した工作や実験をする。	こどもたちの要望を積極的に取り入れ、主体的・意欲的に取り組める活動を行えた。参加者も回を重ねることに増え続けた。来年度は人数をさらに集めるため、学校の部活動などと日程を調整するとよいと思われる。
		はんどめいどクラブ			107		39								146	3年生以上を対象に、週1回実施。手芸やクラフトなど工作・実験クラブとは違ったてづくりの作品に挑戦し、生活にも役立てられるようにする。	こどもたちの要望を取り入れながら行うことで、和気あいあいとした雰囲気のもと楽しんで実施できた。今後もこどもたちの声を大事にしていきたい。来年度は人数をさらに集めるため、学校の部活動などと日程を調整するとよいと思われる。
		ドッジボールクラブ	17		78	89	158	17		2					344	小学生を対象に、月2回実施。右京ブロック交流行事ドッジボール交流会に向けて技術向上とチームワークをふかめる目的でドッジボールを行う。	低学年も高学年も定員を超える募集があり、昨年よりも多くのこどもたちが参加した。たくさん児童の参加があったが、2チームに分けて行うことで練習量を増やすことができた。「勝ちたい、上手になりたい」といった意欲のある児童が多く見られた。
		(3) 行事活動															
館内オセロ・将棋大会	3			26	36	3	3						68	リーグ形式で対戦。入賞者は賞状と小さいトロフィーがもらえる。	学童クラブ・自由来館ともに参加があった。日頃の成果を発揮し、自然した試合を行うことができた。賞状やトロフィーがやる気に繋がっているため、今後も用意していきたい。また日頃から遊びを盛り上げ、大会参加に繋げたい。		
館内マンカラ大会	2		3	16	2	2							23	総当たり戦で対戦。入賞者は賞状と小さいトロフィーがもらえる。	学童クラブ・自由来館ともに参加があった。性別・学年は様々であったが、互いに気を抜くことなく入賞に向けて一生懸命臨むことができた。日頃の遊びが大会にも結びついため、普段からたくさんの子たちに広めて盛り上げていきたい。		
納涼まつりスタッフ					64								64	4年生以上対象。納涼まつりに向けて子どもコーナの準備から当日のコーナ運営まで取り組む。	納涼まつりは、台風接近のため中止となったが、こどもたちの思いを大切に準備していくことで、準備はとても楽しんで取り組むことができた。また子ども同士の仲も深まった。		
納涼まつりスタッフおつかれさま会	1				11								11	スタッフで集まって反省会。アンケートを記入。おやつを渡す。	反省会後は、人生ゲームや当てものくじをみんなで楽しんだ。納涼まつりでできなかったコーナーはクリスマス会でしようと思いをかけると、クリスマス会のスタッフもしたいといった声も上がっていた。		
サンタクラブ					97		10						107	4年生以上対象。クリスマス会に向けて子どもコーナーや看板の準備や当日のコーナー運営、司会進行などを行う。	昨年度に続き、こども同士で誘い合い、たくさんの子が参加してくれた。納涼スタッフから引き続き参加してくれた児童を卒業した中学生が参加してくれたりした。こどもたちが主となって話し合いや準備、当日の進行を行うことができた。「楽しかった、来年もしたい」という声があがっていた。		
サンタクラブおつかれさま会	1				13		1						14	サンタクラブで集まって反省会。アンケートを記入。みんなであそんで最後におやつとプレゼントを渡す。	こどもたちに参加できる日程を確認したことで、ほとんどもが参加できた。和やかな雰囲気での会を実施できた。		

	(5) 地域間交流促進活動	右京ブロックあそびの交流会予選会	1		5		1							6	右京ブロックあそび交流会の出場者を選出後、練習をする。	学童クラブ・自由学園の子どもに参加があった。オセロについては、あそび交感会に出た いと参加のみ、予選会であったが盛り上がる試合になった。大会後の空いた時間には練習 試合を行い、技術の向上に努めた。後援については学童クラブでは協賛付けをするも参加 する児童が少なく、カレンダーや児童館ニュースに掲載したりして働きかけていく。 試合だけでなく交流戦も楽しんで参加していた。オセロの部では京都市児童館から参加し た子が3位に入賞し、一緒に参加した子の意欲に繋がった。母親の部では、試合後無し回 り勝ち手もいたが、全体の盛り上がりでは、来年度の開催に向けて意欲的な感想を述べてい た。
		右京ブロックあそびの交流会	1		12		12		14					38	右京ブロック内の児童館交流行事。	
		右京ブロックドッジボール交流会説明会	1		8	9	18							35	右京ブロックドッジボール交流会の参加希望児童に対し、日時や持ち物などを説明する。	
		右京ブロックドッジボール交流会	1		7	9	18	1						35	右京ブロック内の児童館交流行事。	
		(6) 障がいのある児童の居場所 づくりと活動への参加促進														
	障がいのある児童の自由遊び	1				1							1	障がいのある児童の自由活動の場として、利用してもらう。他の児童との交流にもつなげる。		
	合 計	120	47	600	1171	538	67	92	31	0	0	31	2577			
	推 進 活 動															
		合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		子ども育成機能 合 計	120	47	600	1171	538	67	92	31	0	0	31	2577		

＊注 基本活動は、 指針に基づき(２)遊びの教室活動(３)行事活動(４)クラブ活動(５)地域間交流促進活動(６)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(７)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。
 推進活動は、 指針に基づき(９)地域を知る活動(１０)移動児童館活動に分類して記入すること。
 指定活動は、 指定児童館のみ別途報告すること。

(2024) 年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書 (常磐野) 児 童 館

		活動名	実施回数	参 加 人 数										内 容	成 果 と 課 題		
				乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア					合計	
					自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生	大人				
子 ど も 家 庭 支 援 活 動	基 本 活 動	※ (1) 乳幼児とその保護者を対象とする活動															
		①乳幼児クラブ説明会	1	24						24				48	(1) 幼児クラブに参加を希望する保護者を対象に、クラブの目的や内容、運営などについての説明を行う。	全体で説明するだけでなく、個々の質問にも丁寧に対応することができた。職員と保護者だけでなく、親子同士の合わせの機会にもなり良かった。	
		①乳幼児クラブ	118	1166						1015				2181	週3回実施。生後8カ月までのお子さんの対象のりすクラブ、8カ月～1歳までのお子さん対象のひよこクラブ、1歳以上対象のくまクラブ3つに分かれて活動している。職員による手遊びや絵本に加えて、七夕、クリスマス会、季節の行事や小麦粉粘土、新聞紙遊び、簡単な工作を行っている。くまクラブは保護者にお子さんのお名前呼びや読み聞かせをしていただき、積極的に関わっているようにしている。また、乳幼児クラブが合同で参加できる活動も実施しており、月齢を超えた交流の機会を設けている。	どのクラブも月が進むにつれて人数が増えていった。いよいよおもちやが来てほしいと言った声があがってきた。また季節の行事や小麦粉粘土、新聞紙遊びなど、なかなか家庭ではできない活動についても好評だった。クラブを通して職員との関係ができ、子育てや入園の相談をされる方も多くおられた。	
		乳幼児クラブ体験会	2	8						8				16			
		わらべうたベビーマッサージ	2	11						11				22	乳児と保護者を対象に実施。講師の先生を呼び、お家でもできるベビーマッサージを教えていただく。	昨年同様、同じ先生に依頼し実施した。気になる母子についてご相談いただき、親御さんにも親身になって関わっていただけた。マッサージは好評で、年2回続けて参加される方もおられた。来年度も同じ先生で実施したい。乳幼児クラブだけでなくあそびの広場、機能紙などで広報し集客に努めたい。	
		子育て講座～離乳食について～	2	6						6				12	乳幼児親子対象に実施。管理栄養士さんにきていただき、離乳食について講座をしていただく。	パワーポイントを使っている細やかな説明、個々の質疑応答への丁寧な対応により保護者の不安や疑問が解消され、満足して帰られていた。今後も実施時期や広報の仕方を工夫し集客に努めたい。来年度も同じ先生に依頼する予定。	
		子育て講座 ～おしえて！保健師さん～	2	15						15				30	保護者の方からよく相談がある内容からテーマを決め、テーマに合った子育て講座を保健師さんにしていただく。今年度は保健士さんに口腔ケアの仕方、イヤイヤ期とその対応についてお話しいただいた。	保健師の方の丁寧な説明や和やかな雰囲気、保育の実施などもあり満足いただける時間となった。当日参加の方も多かった。今後も多くの方に参加いただけるよう、保護者の方の悩みや興味を聞きながらテーマを決定していきたい。	
		児童館であそぼうday	2	19						20				39	児童館のお庭または渡り廊下でシャボン玉や砂場あそび、水あそびをする。遊戯室にはトランポリンなどの大型遊具やおもちゃを準備。	気温が高く外あそびは行っていないが、室内の涼しい環境での親子同士の交流、手あそびや読み聞かせ、おもちゃでの遊びを楽しんでいた。今後も外遊びを行う場合は、熱中症対策として簡易テントの設置、水分補給・休息の声をかけを行っていく必要がある。	
		②乳幼児あそびの広場	100	630						567				1197	②週3回実施。乳幼児用の遊具を設置し、自由にあそべるスペースを設ける。	天候により参加人数にばらつきはあったものの、年間を通してたくさん親子が参加してくださった。新しい玩具や遊具の導入だけでなく、パウンチャーを新たに追加し、過ごしやすいつスペース作りを行ったことで親子へのこまめな声かけが集客に繋がったと思われる。今後も親子のあそびの場、保護者同士の交流の場として活用していただけるよう広報していきたい。	
		パパもおいでよ♪ あそびの広場	24	163		2				138				303	②毎月土曜日に2回不定期で実施。乳幼児用の遊具を設置し、自由にあそべるスペースを設ける。お父さんにも利用してもらうように土曜日に設定。	広報し続けることで、お父さんとお子さん、ご夫婦そろっての参加がだんだん多くなった。さらにお父さん同士の交流の場にもなるよう広報していきたい。	
		身体測定～おおきくなあれ♪～	23	99						87				186	毎月第1・第3水曜日に実施。身体測定カードを配布し毎月の子どもの成長を記録できるようにする。手形・足型を記録できるようにする。	計測時にコミュニケーションを図ることで成長を喜び合ったり、仮みに寄り添う機会にもなった。1月からは、身体計測と共に手形や足型を記録できる用紙とスタンプを用意し、身体測定への参加者がさらに増えた。身体測定が児童館と繋がりがきつかけにもなり得るため、今後も広報を工夫しながら取り組んでいきたい。	
		合 計	276	2141	0	2	0	0	0	1891	0	0	0	4034			
		(3)子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路					件数	相 談 内 容				件数	つないだ機関等	件数
			乳児 幼児 小1～3年（自由来館） 小1～3年（学童） 小4～6年（自由来館） 小4～6年（学童） 中学生 高校生	2	児童館にて直接受理 児童相談所 保健所 子ども支援センター 主任児童委員 その他 { }					2	健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他 { }				2	児童相談所 保健所 子ども支援センター 幼稚園・保育園 小学校 中学校 総合支援学校 その他 { 児童館学童連盟 }	
			件数 計	2	—					2	—				2	—	
		グループ名			構成人数		活 動 内 容				育成・支援内容				成果と課題		

		(4)子育てグループを育成 ・支援する活動					
	推 進 活 動	(5)子育てと健全育成に関 する啓発活動	活動名	実施回数	活 動 内 容		成 果 と 課 題

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動[①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動]（2）家族参加を促す活動に分類して記入すること。

(2024) 年度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(常磐野) 児 童 館

地域福祉 社会 促進 機能	基本活動	(1) 地域住民との交流を促進する活動	活動名	実施回数	主催	参加人数						連携団体	成果と課題				
						乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生			大人	合計		
							自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ							
		納涼まつり	1	常磐野児童館	0	0	0	0	0	0	0	0	学童クラブ保護者会 常磐野消防分団 嵯峨野高校吹奏楽部	台風接近のため、今年度は中止となったが、遊びのコーナーについてはクリスマス会で実施することができた。			
		クリスマス会	1	常磐野児童館	21	12	71	4	4	2	78	192	学童クラブ保護者会	学童クラブの子どもたちによるステージ発表、納涼まつりとする予定だった遊びのコーナー、サンタクラブによるペットボトルボウリング、プレゼント渡しを行った。小学校で募集のチラシを配ったり納涼スタッフをいたことにも呼びかけたりしたこと、たくさんの方が参加があり、非常に盛り上がった。			
		親子防災訓練	1	常磐野児童館	9	5	8	17	1		15	55	常磐野消防分団 右京消防署	消防署の方から避難訓練の講評をいただいた。また、消防団の方からは消火器の使い方を説明してもらい、消火訓練を行うことができた。乳幼児さんも含め、たくさんの方に参加してくださった。今後も消防署の方や消防分団の方と連携しながら実施していきたい。			
		お茶の会	1	常磐野児童館			6				3	9	地域女性会区社協 民生児童委員協議会	親子でお茶をたしなみながら、礼儀作法も学び、普段なかなか体験することができないことを経験できた。地域の方との交流も兼ねているため、たくさんの方に参加していただきたい。広報に力を入れたい。			
		じどうかんDE子育てサロン	12	民生児童委員協議会 常磐野児童館	115			116			60	291	民生児童委員協議会	民生児童委員協議会の方々が保護者やお子さんに優しくやかな対応をしてくださることで、毎月、たくさんの方に参加してくださっていた。今年は、小学6年生が児童館に授業の一環で来られた際には、民生児童委員の方と連携し、一緒にオリエンテーションをしていただくことができた。また、民生児童委員協議会の方の工作だけでなく、職員も手遊びや読み聞かせをさせていただいたことで楽しい場を作ることができた。今後も連携しながら継続して行っていく。			
		合計	16	—	145	17	85	137	5	2	156	547					
促進機能	活動	(2) ボランティア活動の推進	活動内容			活動人数				成果と課題							
						中高生	大学生	大人	合計								
							おはなし広場				30	30	『京都おはなしを語る会』のボランティアの方（2名）に毎月1回来ていただくことで、子どもたちがいつもとは違う色々なお話を聞くことができる良い機会となっている。素話や絵本、パネルシアターや歌などを様々な手法を用いて話を聞くことで、子どもの想像力や表現力、集中力の向上にも繋がっている。毎回楽しみに参加してくれる児童がいる半面、参加者が固定化されているので、来年度の1回目は学童の新規登録者全員に参加してもらい、おはなし広場の面白さを味わってほしいと考える。				
							合計				30	30					
		(3) 地域との連携を促進する活動	連携団体等	連携内容						成果と課題							
			常磐野消防分団 右京消防署	防災に対して児童館と地域が一体になって取り組んでいけるよう防災訓練を行う。						避難訓練だけでなく、消火器の使い方を体験したり消防車に乗ったりしながら火事や災害について学ぶことができた。今後も消防分団の方や消防署の方と連携しながら実施していきたい。来年度は、防災センターへの見学を消防団の方から提案していただいている。							



(2 0 2 4) 年 度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(常 磐 野) 児 童 館

地 域 福 祉 促 進 機 能	基 本 活 動	(4) 児童館を支える地域 組織作り	組織名称		構成団体・個人		会議／取組頻度	議題／取組内容	成果と課題
			常磐野児童館運営協力会		常磐野主任児童委員 常磐野自治連合会 常磐野民生児童委員協議会 常磐野小学校校長 常磐野小学校 P T A 常磐野学区社会福祉協議会 少年補導委員会 常磐野支部 常磐野交通安全推進会 常磐野地域女性会 蜂ヶ岡中学校学校運営協議会 防犯推進委員会 常磐野支部		年3回	児童館に関する基本的な諸問題について	児童館の在り方について、地域の方知ってもらい、今後も連携を深めていきたい。
	推 進 活 動	(5) 地域への施設提供	会場提供・備品貸出等		使 用 目 的		提供先（団体・機関等）		成果と課題
			ワイヤレス ワイヤレス ワイヤレス ワイヤレス ワイヤレス		餅つき大会 夏まつり 地藏盆 体育活動 行事		少年補導委員会 少年補導委員会 町内会 体育振興委員会 夢窓幼稚園		館の備品を貸し出すことをきっかけに、館との関わりを持ってもらい、今後の活動にご協力いただけるような関係となれるよう努める。
		(6) 地域調査活動	調査名	調査目的	調査対象	調査主体		調査方法	成果と課題

(2024) 年度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(常磐野) 児 童 館

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報 活 動	児童館ニュース	月1回	児童と保護者 地域住民	小学校で全校配布 乳幼児クラブにて配布 児童館入り口に設置 保健福祉センターへ郵送 宏量福祉会役員へ郵送 ネットワーク会議メンバーへ郵送 地域への回覧	月々の行事日程や内容の広報、先月の行事の報告等	地域回覧や小学校での全校配布により、乳幼児親子の利用や小学生の行事への参加に繋がっていた。
	児童館お知らせ	随時	児童と保護者	小学校で対象学年に配布	行事やクラブ活動についての詳細を参加者募集の呼びかけ	今年度も小学生クラブ、納涼スタッフ、サントクラブ、館外行事へのたくさんの参加が見られた。児童館ニュースに掲載するよりも個別に配布する方が目に止まりやすいこともあるため、募集の内容によっては個別に配布していきたい。
	ポスター	月1回	児童と保護者 地域住民	小学校正門、東門の掲示板へ貼る	月々の行事日程や内容等	掲示物の上から透明な袋をかぶせて保護したり、天気予報を確認して一度取り外したりして雨や風の対策を行った。登下校のこどもたちの目につく場所にあり、取り組みの情報を知る・再確認するきっかけとなっている。
	日程掲示（パパ広場・身体測定）	月1回	乳幼児の保護者	小学校正門掲示板へ貼る	月々の日程	今年度も偶然通りかかった親子が、掲示板を目にして来館してくださることがあった。雨風に影響しないようラミネートして掲示することで、綺麗な状態を保つことができた。
	乳幼児利用案内	毎年更新	乳幼児の保護者	乳幼児クラブで配布 児童館入り口に設置 来館親子への配布	乳幼児とその保護者の児童館利用についての説明	新規の方へ利用案内を配布することでクラブへの登録や行事の参加に繋がった。今後も手に取りやすい場所に置き、補充を定期的に行っていく。
	児童館ホームページ	毎月更新	児童と保護者 地域住民 乳幼児の保護者	インターネットでの情報公開	おたよりの掲載、月々の行事日程や内容等	こまめに更新することができた。また、ホームページを見て児童館を知り、来てくださる方が増えた。

(2024) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(常磐野) 児童館・学童保育所

	活動の基本目標（指針）	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活援助機能	安全・衛生の確保	・挨拶・基本的な生活習慣の確立	・初めはロッカーに荷物が入ればそれでいいと押し込んで入れていた子どもたちであったが、高学年の手本を提示したり、一緒に片付けたり、なぜ片付けて入れないといけないかなど意図を伝え定期的に振り返る機会を設けたりすることで、徐々に整理して入れることが身についていった。今後も苦手な子や片付けようしない子に対しては、その都度声をかけたり一緒にするなど働きかけをしていく必要がある。 ・日頃から物を大切にすることを伝えるとともに、おもちゃを使った後は数を数えたり、おもちゃの使用前・使用後は職員に一声かけるようにすることで、使用することに対する責任が持てるようにした。また、おもちゃや備品が壊れた際はなぜそうなったかを壊した人だけでなく、全体で話し合いの場を設けることで、一人ひとりが自身の問題として考えることができ、結果物を大切にするためのルールを決めることになった。現在そのルールがあることで、各々が大事にしようと心がけたり、友だち同士で声を掛け合うようになっている。 ・職員が元気に挨拶することで、こどもも元気に返すようになっている。今後もそうした職員の姿勢を続け、気持ちよく挨拶し合える環境を作っていくたい。
	健康の管理・情緒の安定	・帰宅時の安全対策	・4月～5月初めまでは職員が17時の集団帰りの子どもたちの下館を引率することで、帰る方向や家の場所、危険箇所を把握することができ、直接こどもに指導することもできた。こどもたちが慣れてくると学校の門までの送りとしたが、帰りの会などで安全な帰り方（ルールだけでなく、同じ方向のこどもたちはまとまって帰ること、上の学年の子が下の学年の子の面倒を見ること）を伝えることで、安全を保証できるよう努めた。また、帰り道でトラブルが起き、こどもや保護者から相談があった際は、当事者だけでなく、同じ方向の子どもたちを集めて話し合いをしたり、必要に応じて帰りの会などの全体の場で話したり、懇談会やおたよりを通して保護者にも注意喚起を行った。それでも改善が見られないケースについては、こどもだけでなく保護者とも話をし、家庭でこどもと話をしていただくこと、帰り道の見守りをしていただくことをお願いすることもあった。こどもが皆無事に帰宅できるよう、今後もこどもや保護者、職員とで安全を守っていきたい。
	基本的な生活習慣の確立	・手洗い、うがい、消毒の励行 ・各自の手拭きタオル使用	・手洗い、うがい、消毒は日頃から取り組んできた。外から帰った時、トイレ後、おやつ前後は必ず手洗いをを行うよう声をかけ続けることで、こどもたちの習慣にもなっている。個々、全体に伝えるだけでなく、保護者にも協力をいただき家庭でも行っていただくことが今後必要と思われる。手拭きタオルは忘れず毎日持ってくる子がほとんどだが、中には頻繁に忘れてくる子も何人かいる。どうして忘れてはいけないのか、どうしたら忘れず持って来れるかなどを丁寧に話すことで、意識づけしていきたい。
	社会生活技術の獲得	・当番活動 ・清掃活動	・おやつを食べた後は、自分で机を拭き、お皿・おやつのごみを片付ける形を行った。床や机におやつのかすが落ちていたり、ジュースをこぼす子もいたが、どうしたら落とさずこぼさず食べれるかを伝えたり、自分で対処するようにさせることで、少しずつではあるが綺麗に食べることを意識するようになってきている。掃除は週替わりで担当場所を変え、リーダー・副リーダーを中心に行っている。中には遊んだりふざける子もいるが、互いに声をかけ合い掃除している。
	社会生活技術の獲得	・片付け	
子ども育成機能	生活体験の拡大	・班活動、班での取り組み ・班会議 ・当番活動	・班会議として、グループの名前決めやポスター作り、ルールについて話し合う機会を設けた。初めは意見が言いづらい1年生もいたが、リーダーが話しやすい雰囲気を作ってくれたりすることで、回を重ねるごとに少しずつではあるが言えるようになっていった。
	社会性の養成	・みんなあそび ・クリスマス会（出し物等） ・入所式、修了式 ・夏休みの課題 けん玉練習、けん玉検定	・グループ対抗や協力し合うといったみんなあそびを通して、仲間同士協力する気持ちや集団でのあそびに楽しみを持てるよう働きかけた。ドッチボールだけでなく、『いどだな』ゲームやビンゴ等も行い、運動が苦手な子も楽しむ様子が見られた。 ・今年度のクリスマス会の出し物は、やりたい子がやりたいことに参加する形を取った。ダンス、合奏・合唱、ハンドベル、なわとび、けん玉ダンスの5つの出し物に分かれ、1～6年生までが一生懸命本番に向けて練習に励んだ。下級生が上級生を頼り、上級生が丁寧に教える姿、自分たちで曲や構成を悩みながら決めたりと、自主性や協力する姿勢を覗うことができた。本番ではこれまでの練習の成果が発揮され、発表者たちの達成感だけでなく、他のこどもたちや保護者の方からは憧れや感動、成長を感じる機会となった。 ・けん玉検定に向けて、夏休み中はグループでまとまって練習した。得意な子のけん玉を見て憧れたり、技を教え合ったりと、グループで練習する良さが見受けられた。またグループの練習だけでなく、遊びの時間でも様々な学年・男女が集まって練習したり、黙々と取り組んだり練習に励み、けん玉検定ではそれらの成果が発揮されていた。
子育て	自立の促進と自主性の尊重		
	子育てに必要な情報の提供と交換	・おたより・おやつメニュー表発行	・月初めに子どもたちの様子を載せたおたより『このゆびとーまれ』を発行。おやつメニュー表は月2回発行。アレルギーを持つこどもの家庭へはメニュー表を2枚を配付し、除去が必要なものには印を付けて返却してもらい、代替食を出す等の配慮を行った。 ・お便りやお知らせについては、文章の構成や、見やすさや理解しやすさ考慮し、書き方を慎重に考え、職員間でも確認を行った。

子育て支援機能	子育ての仲間づくり	・懇談会（全体懇談会、個人懇談会） ・小学校の先生との連携	・懇談会を年４回、個人懇談を９月の土曜日に実施した。懇談会では、お便りだけでは伝えきれないことを映像を使う等しながらお話した。懇談会不参加の家庭には、話の内容をまとめて報告書として配付した。個人懇談では、職員からだけでなく、保護者からも学校・家庭での様子や学童への要望等を聞き、保護者と情報共有ができるよう心がけた。また出てきた内容については職員全体で把握し、日頃の支援に活かした。 ・情報共有や共通理解のために話をすることがあった。個人情報保護の観点には十分注意が必要であることは忘れてはいけない。
	子育てを支えるネットワーク	・保護者参加行事（親睦会、納涼祭り、親子お茶会等）	・どの行事も親子で参加される方が多く、親子だけでなく保護者同士の交流の場になっていた。親睦会のバーベキューも好評で、普段参加されない保護者の方も多く見受けられた。保護者自身も楽しい行事への参加や保護者の繋がりを求めておられるように思われるため、今後も魅力ある企画を行っていききたい。

(2024) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(常磐野) 児童館・学童保育所

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合 計	内 容
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1～3年	4～6年	中高生	大学生	大人			
1) 生活援助機能															
リーダー・副リーダー会議	3			24										24	班の代表としての活動、運営、仲間との関わりについて話し合った。
班会議	11	351	325	132	20	21	9							858	班の活動や学童生活の問題、行事への参加方法について話し合った。
年末・年度末大掃除	1	21	23	10	1	1	1							57	年末、年度末に児童館の大掃除をした。
おたのしみ会	1	21	23	10	1	1	1							57	年末の大掃除後、おたのしみ会でDVDの鑑賞やビンゴ大会をした。
3年生会議	2			19										19	修了制作に向け、3年生で話し合い、オリジナルのナップサックや写真立てを制作した。
防災訓練	1	33	33	12	2	1	1							82	非常時に備え、自分の身を守る方法を訓練した。
														0	
2) 子ども育成機能														0	
入所式	1	36		8					1				65	110	入学式後、新入所児・保護者・職員・代表のこどもたちと顔を合わせ、入所を歓迎した。
新入所歓迎会	1	32	29	15	6	1	1							84	こどもたち一人ひとりが得意なことや好きなことを言いながら自己紹介を行った。
ステージ発表 参加	2	7	4	7	3		2		8					31	児童館まつりや常磐野学区なつまつりのステージ発表に参加し、ボディーパーカッションを披露した。
伝統工芸体験	1	27	26	14	7		1					8		83	地域の方の協力を得て、伝統工芸体験としてお盆を作成した。児童館まつり、常磐野学区なつまつりのステージ発表に参加し、ボディーパーカッションを披露した。
けん玉検定	5	35	39	16	8	1	1							100	夏休み中練習してきたけん玉の成果を発表した。
みんな遊び	2	66	58	24		2	1							151	ゲームをみんなで楽しんだ。
クリスマス会出し物練習	9	50	40	50	18		10							168	クリスマス会で行う出し物の練習をチームで行った。
クリスマス会(リハーサル含む)	2	66	58	25	5	2	1							157	体育館で開催。発表したいこどもたちがダンスやなわとび、けん玉などの出し物を披露した。職員や納涼スタッフが企画したあそびコーナーで遊んだり、近隣の高校の吹奏楽部による演奏を聞いて楽しんだ。最後にプレゼントをもらった。
駄菓子屋さん(準備含む)	3	34	33	32	2	1	1							103	3年生が駄菓子屋、3年生以外の学年がお客さんとなって買い物を楽しんだ後、それぞれが買った駄菓子をおやつとして食べた。
退所記念制作	5	1	5		3		1							10	退所児は記念品の絞り染めTシャツ製作に取り組んだ。
文集制作	15	72	70	30	4	2	2							180	3年生以外の子は3年生へのメッセージ、3年生は思い出を文集にまとめる。
3年生遠足『京都市青少年科学センター』	1			14										14	児童館で自分で選んだお弁当を食べたりゲームをした後、公共交通機関を利用して青少年科学センターに行き、館内見学やサイエンスショー・プラネタリウムの鑑賞を行った。
修了式	1	33	29	13	2	1	1							79	今年度で修了するこどもたちを、挨拶・スライドショーなどを行いながら見送った。その中で、3年生や修了するこどもは証書・記念品・文集・写真立てをもらった。
誕生祝い													89	89	こども一人ひとりの誕生日に、保護者や職員からお祝いメッセージのカードと誕生日プレゼント(自分で描いたトートバック)をもらった。
3) 子育て支援活動														0	
親睦会	1	21	23	13	5		1		8				100	171	保護者会主催によるバーベキューを通して、親子・保護者同士の繋がりが持てた。
納涼祭り(台風接近に伴い中止)														0	常磐野小学校の体育館で、夏の思い出として実施する予定であったが、台風接近に伴い中止となる。劇団風の子さんによる観劇、あそびコーナー、学童クラブによる発表を行う予定であった。
親子お茶会	1	1	5									3	7	16	地域にお住まいの茶道の先生を講師に招き、親子で茶道の体験をする。
懇談会	4	6	7	2			1						255	271	こどもたちの活動の様子を写真を交えながら話したり、長期休みの過ごし方等の説明を行った。

個人懇談会	3												49	49	懇談会だけでは伝えきれないことや個人の様子を職員間でまとめ、保護者に伝えた。
新入所オリエンテーション	3	3	3	1									127	134	新しく入所するこどもの保護者対象に、学童の生活・ルール等を話した。

＊注 1 行事名は，（１）生活援助機能 （２）子ども育成機能 （３）子育て支援機能に分類して記入すること
 ＊注 2 2クラス以上の館所で，クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は，行事名と併せて，クラス名を記入すること